

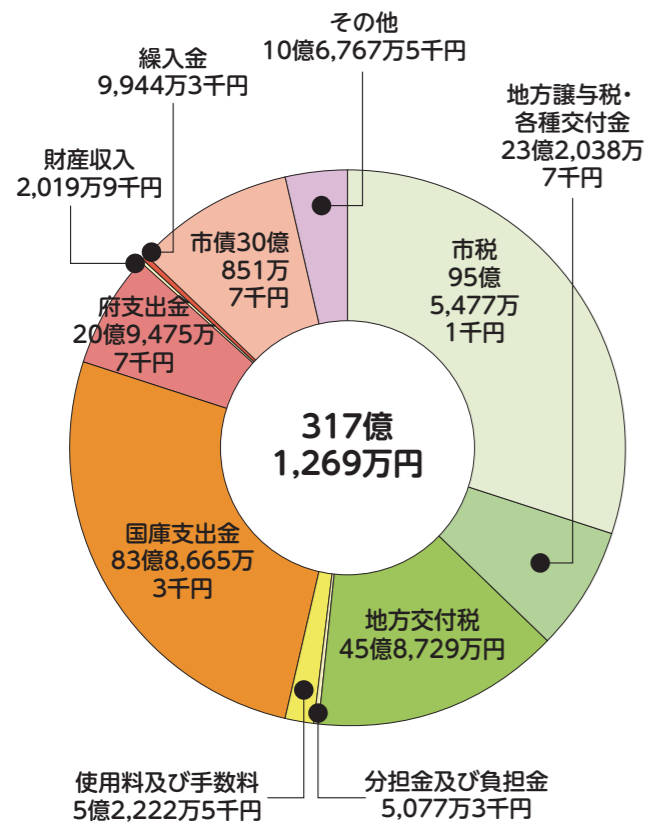
令和3年度の決算

☎ 財務課 ☎ 892-0121

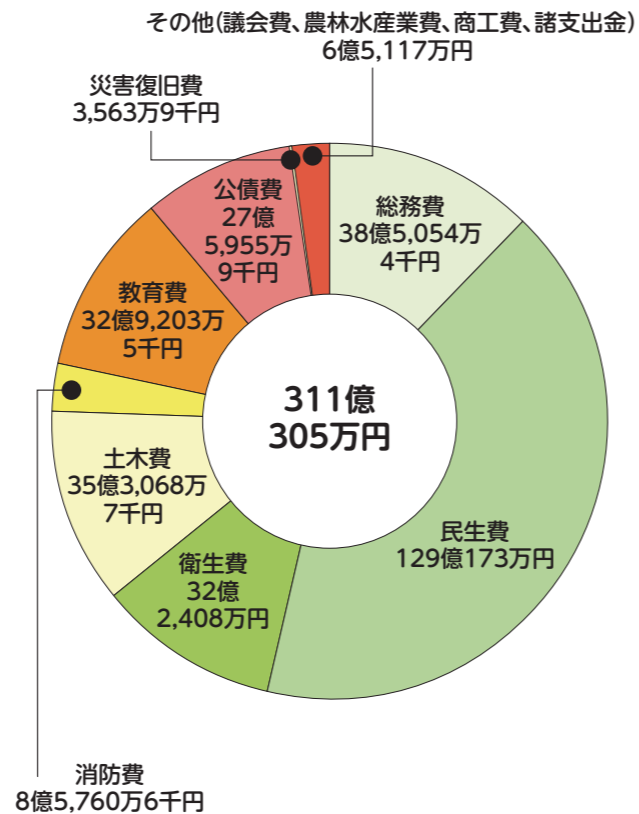
一般会計決算は、歳入が317億1,269万円、歳出が311億305万円となり、差し引き6億964万円のプラス収支となりました。市の財政状況は、高齢化による社会保障費の増加、公共施設の老朽化対策、土地開発公社の健全化の推進、新型コロナウイルスの感染防止対策など、多くの問題が山積しており、依然として厳しい状況が続くことが予測されます。

今後も、継続的・安定的な行政サービスを提供していくため、効果的で効率的な財政運営を進めます。

歳入



歳出



- ▷ 令和3年度のみ一時的な追加交付があったことなどから普通交付税額が増加し、地方交付税が10億1,960万9千円の増
- ▷ 個人市民税の減少などにより、市税が1億3,804万7千円の減

- ▷ 子育て世帯臨時特別給付金給付事業や新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金給付事業などにより、民生費が10億307万3千円の増
- ▷ 新型コロナウイルスワクチン接種委託料やコールセンター等業務委託料などにより、衛生費が8億8,990万2千円の増

主な事業

- 小学校統合校舎整備事業 1億8,702万2千円
- 星田北・星田駅北土地区画整理事業 18億2,679万8千円
- 子育て世帯臨時特別給付金給付事業 11億5,705万4千円



会計別決算額

単位:千円

会計名	歳入総額	歳出総額	繰越財源	実質収支	単年度収支
一般会計	31,712,690	31,103,050	158,634	451,006	72,579
国民健康保険特別会計	7,781,621	7,600,750	0	180,871	△ 24,944
介護保険特別会計	6,110,610	6,000,889	0	109,721	△ 39,777
公共用地先行取得事業特別会計	257,104	257,104	0	0	0
後期高齢者医療特別会計	1,465,705	1,401,880	0	63,825	63,563
合計	47,327,730	46,363,673	158,634	805,423	71,421

健全化判断比率

項目	説明	令和3年度	令和2年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	財政規模に対する赤字の割合	なし	なし	12.70%	20.0%
連結実質赤字比率	特別会計も含めた実質赤字比率	なし	なし	17.70%	30.0%
実質公債費比率	収入規模に対する公債費の割合	8.9%	9.4%	25.0%	35.0%
将来負担比率	財政規模に対する、今後負担することになる負債の割合	55.5%	69.4%	350.0%	
資金不足比率(水道事業)	公営企業の事業規模に対する資金不足の割合	なし	なし	20.0%	
資金不足比率(下水道事業)		なし	なし	20.0%	

※実質赤字比率、連結実質赤字比率は黒字のため、また資金不足比率は資金不足が発生しないため、なしと表示しています。

基金と市債

単位:千円

基金(貯金)残高	
財政調整基金	4,107,341
減債基金	984,790
その他特定目的基金	2,366,761
合計	7,458,892

単位:千円

市債(借金)残高	
一般会計債	26,669,008
公共用地先行取得事業会計債	1,697,009
合計	28,366,017

※水道および下水道分、土地開発公社分は除きます。

公社・公営企業会計等

単位:千円

会計名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純利益	前年度純利益
土地開発公社会計	727,752	898,271	△ 170,519	14,938
水道事業会計	1,398,358	1,339,321	59,037	24,572
下水道事業会計	1,541,964	1,278,826	263,138	232,688

単位:千円

土地開発公社借入金の状況		
期間	借入金額	平均利率
長期	6,122,000	0.18%